

日清戦争について

経営学科 1 年 伴 守

1. 日清戦争のきっかけ

1875(明治8)年9月の江華島事件を契機として、翌1876年2月26日江華島条約(日朝修好江華条約)が締結され、65年ぶりに日朝修好が復活した。この条約は、朝鮮の独立を確認し両国の友好を約したものである。これはすなわち清国の宗主権を否認したものであり、ここに日清戦争の直接的原因が芽生えた。

その後、1894(明治27)年2月に朝鮮で起こった農民反乱の甲午農民戦争(東学党の乱)は、李王朝への反発から日本や欧米の侵入に対する反対へと発展した。朝鮮政府は、鎮圧のため、清国に救援を求めた。清国から出兵の通告を受けた日本政府は、直ちに出兵し、清国政府に共同して朝鮮の内乱を鎮圧し、内政改革をすすめさせようと申し入れたが、清国はこれを拒否すると、日本軍は朝鮮王宮を占領し、朝鮮政府に清国軍を撤退させるよう求めた。こうして7月25日の日本軍による清国艦隊への奇襲攻撃(豊島沖海戦)、成歓・牙山の戦闘が行われ、日清両国は戦争状態に入り、8月1日、両国とも宣戦布告して日清戦争が始まった。

2. 戦争の内容

2.1. 平壤の戦闘

1894年8月下旬、平壤に強力な清軍が集結したことにより、朝鮮政府内にこれを恐れる空気が強くなった。このため、日本軍は速やかに平壤の清軍を撃破する必要があると考え、平壤に到着とともに断然攻撃することに決めた。9月15日早朝から、各日本部隊は一斉に攻撃を開始し、16時40分頃清軍は白旗を掲げ、かつその大部分はこの夜の風雨に紛れて北方に撤退した。日本軍は、16日朝、平壤を占領した。日本軍の損害は死傷者686名、清軍の損害は戦死約2000名、捕虜約600名であった。

2.2. 黄海の海戦

日本艦隊は、直隷に陸軍部隊を上陸させるため、速やかに清国艦隊を撃破して渤海湾の制海権を確保する必要があった。9月17日11時頃、日清両艦隊は互いに敵影を確認、12時50分頃から開戦が始まった。戦闘は日没まで続き、日本軍の勝利に終わった。清国艦隊は大打撃を受け、黄海の制海権は日本軍の手中に落ちた。

2.3. 威海衛の攻略

1894年12月4日、日本軍は直隷平野の決戦に先立って威海衛を攻略して北洋水師を撃滅することに決定した。12月16日戦闘序列の変更が下令され、威海衛軍港を占領するよう訓令を受けた。1895年1月30日、払暁から攻撃を開始した。清軍の丁汝昌は2月11日自決し、翌12日残将をして降伏させた。日清戦争は日本軍の勝利に終わった。

2・3戦争後の条約

1895年3月20日から下関において清国全権大使李鴻章と日本全権大使伊藤博文との間で開始され、3月30日休戦条約、4月17日講和条約が調印された。

◎ 下関条約

1. 清国は朝鮮の独立を確認する。
2. 遼東半島・台湾・澎湖半島を割譲する。
3. 賠償金2億両(テール)を支払う。
4. 重要な港湾市街を開市する。
5. 条約履行の担保として日本は威海衛を占領し、清国はその費用を負担する。

ところが、講和条約の調印がすんだ後の4月23日、露独仏3国は日本に遼東半島を清国に返還するように強く勧告してきた(三国干渉)。日本は、イギリスが中立宣言をするなどの国際情勢と国力を考慮して、勧告を受けいれざるをえないと判断した。

4. まとめ

戦争がもたらした日清両国の被害は悲惨な結果だけが残ってしまった。戦争とはなぜ起こってしまうのだろうか？僕が思うに人間の欲の深さが原因ではないかと思う。日本は朝鮮を清国から引き離して清国との関係をなくし、自国の植民地にしたいという野心、そして、言うことを聞かない清国を戦争という暴力で倒し、領土を奪い日本の下につかせたいという強い野心のせいでこのような罪のない国民の多くが被害にあってしまった。起こってしまった昔の出来事は、戻すことは出来ません。戻ることが出来ない代わりにこの戦争で学んだこと、人を殺すというむなしさ、人から恨まれる辛さなどいろいろなことを二度と繰り返してはならないと実感した。だが、我々だけがそう思っても戦争は人間の欲望がある以上終わりはないだろう。それを示すかのように2003年3月下旬にアメリカはイラク侵攻に入った。今現在終戦と言う近い形はとっているイラク戦争はアメリカが予想以上にイラクに抵抗され、アメリカもかなりの被害を受けた。亡くなった兵士の家族や親戚などはどのくらいの悲しみを突きつけられたのか、それは想像できないほどであることは間違いないだろう。アメリカは自分たちが物にしたかった石油開発などの欲望のために取り返しのつかない事態にしてしまった。このような悲しい惨劇がのちの世界からなくなることを願いながらまとめとします。

参考サイト:

<http://military-web.hp.infoseek.co.jp/shiryoku/nissin.htm>